平成 22 年度第 2 回 物理学専攻会議議事録（案）

日時　　平成２２年９月９日（木）１３:３０より
場所　　理学部１号館小柴ホール

出席者：７８名

物　理：小形専攻主任、初田専攻副主任、早野専攻長、蓑輪、牧島、坪野、小沢、浅井、内田、中澤、藤森、横山（将）、駒宮、上田（正）、酒井、樋口、山本（智）、常行、岡本、須藤、諸井、五神、宮下(精)、濱口、青木、大塚、佐野、長谷川、村尾、福山、
原核セ：井手口、浜垣、下浦、上坂
物性研: 榊原、上床、徳永、板谷、松田、益田、野口、押川、秋山、末元、加藤（岳）、金道、杉野、川島、家、
宇宙線：大橋、早戸、森山、瀧田、佐川、梶田、川崎、中畑
高エネ：齊藤（直）、徳宿、筒井、
宇宙研：中川、満田、山崎(典)、高橋
生産研：羽田野
素粒子セ：田中、小林、森、山下、坂本、川本
新領域：江尻、溝川
ビッグバン:横山（順）
総合文化：国場
医学系：宮下（保）
数物連携：堀、柳田

◎ 専攻会議議事録(案)について
　平成 22 年６月専攻会議議事録(案)については、承認された。

◎ 議事に先立ち、専攻主任より、7 月着任教員４名の紹介があり、物性研究所・益田隆嗣准教授（Ａ４サブコース)、板谷治郎准教授（Ａ６サブコース)、素粒子センター・田中純一准教授（Ａ２サブコース）よりご挨拶があった。

［学生報告事項］

１．　資料に基づき学生異動の報告があった。又、2 か月以上の海外渡航について、届けが遅れないように提出するよう要請があった。

［教務関係］

２．　教務委員･藤森教授より､資料に基づき､大学院カリキュラムＷＧの報告があった。現状の問題を共有できたので、来年度に向けて、藤森教授を中心に、大学院カリキュラムＷＧで検討を続けることとした。

［博士論文について］

３．９月修了予定者の学位論文の審査報告について
専攻主任より、９月修了予定者５名の学位論文提出があり、審査継続２名・撤回が１名あった旨、報告があった。
主査の上床准教授と下浦教授より、資料に基づき、審査結果について説明と報告があり、２名の合格が承認された。

［修士論文について］

４．９月修了予定者の修士論文審査結果報告について
専攻主任より、資料に基づき、９月修了予定者１名の修士学位論文について、決定の提案があり、承認された。

［外国人研究生について］

５．国費(大使館推薦)外国人研究生について
専攻主任より、資料に基づき、平成２２年４月入学の大使館推薦の国費外国人研究生１名について報告があった。

［国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラムについて］

６．外国人特別選考委員長･福山教授より、資料に基づき、国費留学生受入日程と出願書類について確認があった。

［大学院担当について］

７．大学院担当の申請について

専攻主任より、資料に基づき、大学院担当１名(宇宙線研究所、Ａ８サブコース)の提案があり、宇宙線研究所・森山准教授より推薦の説明があった。
投票の結果、大学院担当が承認された。

［就職室より］

８．就職担当･牧島教授より、今年度の就職状況について説明があった。

［修士課程入試について］

９．平成２３年度修士課程入学試験について
入試実施委員長･初田教授より、配布資料に基づき、平成２３年度修士課程入試について経過報告があった。今年度は、２４５名の出願があり、１７３名が口述試験対象者となった。

１０．初田教授より、資料に基づき、アンケート結果について説明があった。

１１．専攻主任より、資料に基づき、平成２３年度修士課程入学試験合格者の決定方法について確認がなされた。

１２．配布資料の通り、平成２３年度修士課程入学内定者１３０名および指導教員の決定がなされた。

［その他］

１３．専攻長・早野教授より、専攻で奨学金をつくり、外国人のサポートをして行きたい旨提案があり、今後具体化に向け、検討していくことになった。

１４．専攻主任より、サブコース名の名称変更について提案があり、今後議論していくことになった。